

# 取扱説明書

品番：RPC

家庭用

真空保温調理器

シャトルシェフ<sup>®</sup>

- このたびは、真空保温調理器シャトルシェフをお買い上げいただきありがとうございます。
- シャトルシェフのご使用にあたっては、この「取扱説明書」をよくお読みの上正しくお取り扱いください。  
そして、いつでも取り出せるところに大切に保管して、ご使用上の不明な点などをご確認ください。
- 具体的な調理方法については付属の「クッキングブック」をご利用ください。

## 目次

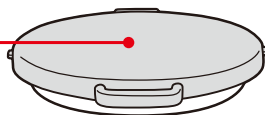
各部のなまえとはたらき	P1
保温容器フタ・調理鍋について	P2
使い方とポイント	P3~P4
ご注意とお願い	P5~P7
お手入れ方法／お手入れ上の注意	P8
こんなときは	P9
仕様	P10
交換用部品のご案内／お問い合わせ	P11

# 各部のなまえとはたらき

ご使用前に、各部品がそろっていることを確認してください。

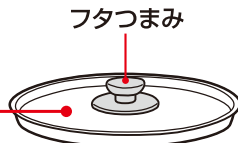
## 保温容器フタ

断熱構造です。



## 調理鍋フタ

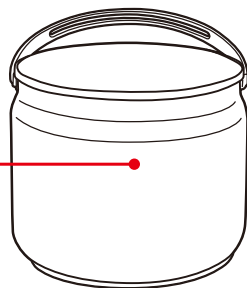
ステンレス製です。



## 調理鍋

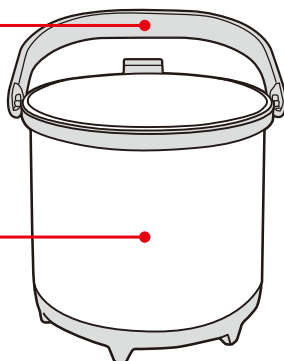
IH  
200V  
対応

熱が均一に伝わりやすい構造です。  
200Vの電磁調理器 (IHクッキングヒーター) 対応です。  
ガス・電気・ハロゲンヒーター・シーズヒーターでも  
お使いいただけます。



## ハンドル

ハンドルで保温容器フタをロックする構造です。  
ハンドルは立てた状態から手前に倒した状態の範囲で  
保温容器フタをロックします。  
後ろ側に倒すとロックを解除します。



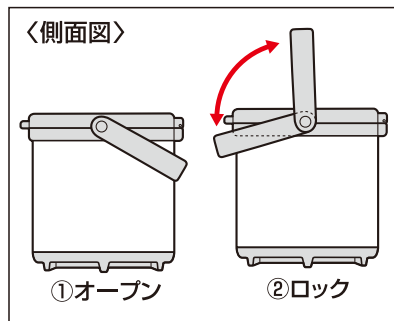
## 保温容器

魔法びんと同じ真空断熱構造で高い保温・保冷機能があります。

# 保温容器フタ・調理鍋について

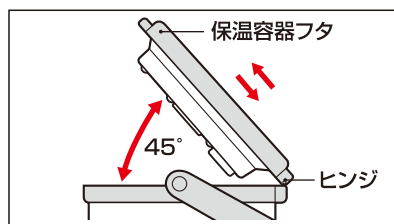
## 保温容器フタの開閉

- ハンドルの位置で保温容器フタのロックと解除ができます。
  - ① ハンドルを後ろ側に倒すと保温容器フタが開閉できます。
  - ② ハンドルは立てた状態から手前に倒した状態の範囲で保温容器フタをロックします。ロック中は保温容器フタが調理鍋フタを押えますので、多少の振動があっても調理鍋の内容物はこぼれにくくなります。車などで移動する際は、ハンドルを必ず手前（ロック方向）に倒してください。



## 保温容器フタの取りはずし方

- ハンドルを後ろ側に倒します。保温容器フタを約45°開けて、そのまま前方に引き上げてはずします。

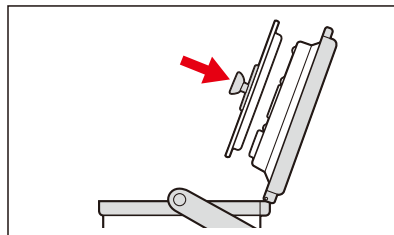


## 保温容器フタの取り付け方

- ヒンジに確実に差し込みます。

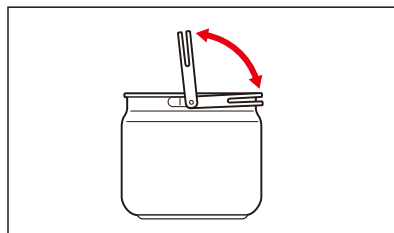
## 調理鍋フタを置く

- 調理鍋フタを図のように保温容器フタにのせることができます。  
\*調理鍋フタは確実にのせてください。



## 調理鍋の出し入れ

- 調理鍋の取っ手は、図のように一方へは調理鍋の縁まで倒れますが、もう一方へは途中で止まる構造になっていますのでご注意ください。  
\*無理に倒すと破損の原因になります。
- 調理鍋を保温容器に入れる際は、調理鍋の取っ手を倒してから保温容器フタを閉めてください。



# 使い方とポイント

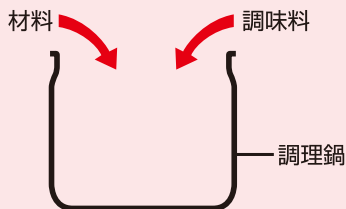
ご使用前にP.8「お手入れ方法」を確認の上、調理鍋・調理鍋フタを十分に洗ってください。

※付属のクッキングブックにも記載しています。

## 〔1〕保温調理機能

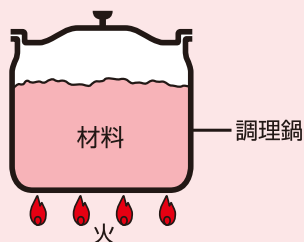
**1** 調理鍋を保温容器から取り出します。

**2** 付属のクッキングブックを参考にして調理鍋に材料を入れ、火にかけます。



- 分量を減らすとき  
材料が十分煮汁に浸るようにし、最低2人以上以上とします。
- 分量を増やすとき  
材料は調理鍋の8分目までを目安とします。

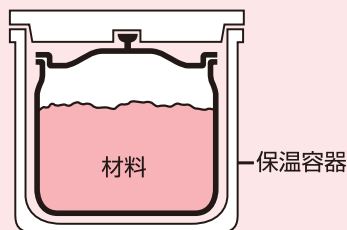
**3** 沸とうしたら、ふきこぼれないように注意して加熱を続けます。  
この時間を沸とう加熱時間と呼びます。



この間に材料に十分な熱を与えます。

- 調理時間を調節  
寒冷地でのご使用や大きめの材料を使用する際は、火が十分に通るよう、沸とう加熱時間を長めにします。
- 味つけは沸とう加熱中に  
沸とう加熱後は火にかけないため、煮つまって味が濃くなることはありません。  
沸とう加熱中にお好みの味に調整してください。

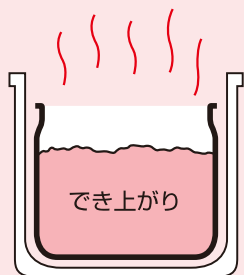
**4** 沸とう加熱時間が終わったら、調理鍋を火からおろして保温容器に入れ、所定の時間そのままにします。この時間をおまかせ時間と呼びます。



この間に保温容器の高い保温力でじっくり煮込みます。

- おまかせ時間中はフタを開けないで  
おまかせ時間中に保温容器フタ・調理鍋フタをくり返し開けると、温度が下がって調理ができなくなります。

## 5 おまかせ時間が過ぎたら、調理は完了です。



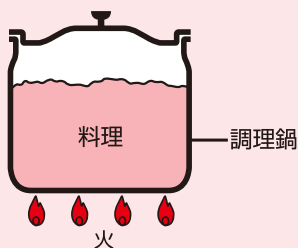
■料理の分量が少ないときは  
少量で保温すると、温度が下がりやすく保温効果が低下します。その際はもう一度調理鍋を火にかけてください。

■保温時間が長くなったら  
長時間保温するときは、腐敗をさけるため、8時間を目安に再加熱してください。

## (2) 保温機能

シャトルシェフには調理機能のほかに、でき上がった料理を保温（保冷）する機能があります。調理済みの料理を保温する場合には、次の手順でおこなってください。

### 1 料理を調理鍋に入れて火にかけ、焦げつかないようにかき混ぜながら沸とうさせます。



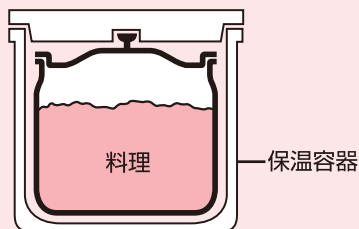
■保温前に調理鍋を必ず火にかけて沸とうさせてください。

■保温する料理の量は2人以上にしてください。

■保温中はフタの開け閉めをできるだけ少なくしてください。

■長時間保温するときは、腐敗をさけるため、8時間を目安に再加熱してください。ただし、料理の分量が少ないと温度が下がりやすくなりますので、早めに再加熱してください。

### 2 沸とうしたら火を止めて、調理鍋を保温容器に入れ、保温容器フタを閉めて完了です。



# ご注意とお願い

ご使用前によくお読みの上、必ずお守りください。

## 表示マークの意味について

■製品を正しくお使いいただくために、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を以下の表示で区分しています。














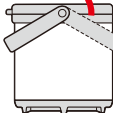

 <b>警告</b>	死亡、または重傷を負う恐れがある内容を示しています。	 <b>注意</b>	軽傷、または物的損害を負う恐れがある内容を示しています。
--	----------------------------	---	------------------------------

## ■図記号について









 <b>禁止</b>	 <b>接触禁止</b>	してはいけない内容(禁止)を表しています。	 <b>必ずおこなう</b>	必ずお守りいただく内容を表しています。
---	---	-----------------------	---	---------------------

## 安全上の注意

### 警告

<p>■<u>保温容器は絶対に火にかけないでください。</u></p> <p>*保温容器の底はプラスチックのため、火が燃え移り火災などの原因になります。</p>	<p> 禁止</p> 	<p>■乳幼児の手の届くところに置いたり、使用したりしないでください。また、いたずらには十分に注意してください。</p> <p>*やけどやけがの原因になります。</p>	<p> 禁止</p> 
<p>■調理鍋は空だきをししないでください。万一誤って空だきをした場合に水などをかけて急冷しないでください。</p> <p>*変形・変色、やけどや火災の原因になります。</p>	<p> 禁止</p> 	<p>■油料理をするときは、加熱しすぎない(油温が200度以上にならない)よう注意し、そばから離れないでください。</p> <p>*煙が出るほど加熱すると、発火する原因になります。</p>	<p> 禁止</p> 
<p>■電子レンジやオーブンに入れないでください。</p> <p>*電子レンジの故障や火災などの原因になります。</p>	<p> 禁止</p> 	<p>■保温容器はストーブやコンロなどの火気に近づけないでください。</p> <p>*プラスチック部分が熱により変形したり、火災の原因になります。</p>	<p> 禁止</p> 
<p>■調理鍋を保温容器にセットして車などで運ぶときは、必ずハンドルを手前(ロック方向)に倒してください。</p> <p>*ハンドルを後ろ側に倒した状態で運ぶと、保温容器が転倒した場合、内容物がこぼれて、やけどやものを汚す原因になります。</p>	<p> <b>ロック</b></p> 	<p> <b>必ずおこなう</b></p>	

## ⚠ 注意

<p>■ 飲食物の調理や保温・保冷以外に使用しないでください。</p> <p>🚫 禁止</p>	<p>■ 沸とう加熱時は調理鍋より外側へ炎を出さないでください。</p> <p>🚫 禁止</p> <p>*調理鍋が破損したり、熱によるやけどの原因になったりします。</p> 
<p>■ てんぷらやフライなど多量の油を入れる料理には使用しないでください。</p> <p>*やけどや調理鍋が破損する原因になります。</p> <p>🚫 禁止</p> 	<p>■ 長時間の保温はしないでください。</p> <p>*腐敗の原因になります。8時間を目安に再加熱するか、調理鍋から料理を取り出して、冷蔵庫へ移してください。</p> <p>🚫 禁止</p> <p>長時間の保温はしないで!</p> 
<p>■ 改造・分解・修理は絶対に行わないでください。</p> <p>*故障・事故の原因になります。(修理はお買い上げの販売店、またはお客様相談室にご相談ください。)(P.11)</p> <p>🚫 禁止</p> 	<p>■ みそ汁・カレー・シチューなどを加熱・再加熱(温め直し)する際は、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 一気に強火で煮立てないでください。</li> <li>● 加熱前と加熱中はよくかき混ぜてください。</li> </ul> <p>*突沸現象(局所的な急沸とう)により内容物が吹き出したり、調理鍋が転倒したりしてやけどやけが、調理鍋の破損の原因になります。</p> <p>⚠ 必ずおこなう</p> 
<p>■ 調理鍋を保温容器にセットした後は、傾けたり、振りまわして運んだりしないでください。</p> <p>*内容物がこぼれて、やけどやものを汚す原因になります。</p> <p>🚫 禁止</p> 	<p>■ 使用中や使用直後に調理鍋取っ手を持つ際は、直接触れたりせず、鍋つかみを使用してください。</p> <p>*やけどの原因になります。</p> <p>🚫 接触禁止</p> 
<p>■ 使用中や使用直後に調理鍋取っ手を持つ際は、直接触れたりせず、鍋つかみを使用してください。</p> <p>*やけどの原因になります。</p> <p>🚫 接触禁止</p> 	<p>■ 調理鍋はストーブの上で使用しないでください。</p> <p>*転倒して内容物がこぼれ、やけどなどの原因になります。</p> <p>🚫 禁止</p>

## 安全上の注意

ご使用前によくお読みの上、必ずお守りください。

■ 走行中の車内などでは使用しないでください。  禁止

\* 転倒し、漏れてやけどやものを汚す原因になります。

■ 不安定な場所に置かないでください。  禁止

\* 転倒して内容物がこぼれ、やけどやものを汚す原因になります。




■ 落とす・ぶつけるなど強い衝撃を与えたり、アイスピックなど先のとがったもので突いたりしないでください。

\* けがや変形・破損の原因になります。




## 使用上のお願い

■ 保温容器に直接食品や材料を入れないでください。  禁止

\* さび・腐食の原因になります。




■ 保温容器の上に調理鍋や調理器具などをのせないでください。  禁止

\* 変形・破損の原因になります。




■ 車などに載せる際は、傾けたり転倒させたりしないよう注意してください。  禁止

■ 調理鍋は汚れた状態や濡れた状態で放置したり、おたまなどの金属が接触した状態で放置したりしないでください。  禁止

\* さび・腐食の原因になります。

■ 調理鍋にさび・腐食が生じたまま放置しないでください。  禁止

\* 穴があく原因になります。

■ 製品には必ず専用の部品を取り付けてください。  必ずおこなう

■ 保温調理中は保温容器フタ・調理鍋フタの開け閉めをできるだけ少なくしてください。

\* 内容物の温度が下がり、保温調理ができなくなります。その際は、もう一度調理鍋を火にかけて沸とうさせてください。

■ 調理鍋に入れる材料は8分目までを目安とし、フチまで材料を入れて調理しないでください。

\* ふきこぼれなどの原因になります。

■ 少量で保温すると、内容物の温度が下がりやすく、保温効果が低下する原因になりますのでご注意ください。



## お手入れ方法

臭いや汚れを防ぎ、いつまでも清潔にご使用いただくために、ご使用後は必ずお手入れをしてください。

- お手入れはぬるま湯でうすめた食器用中性洗剤を使用してください。
- 汚れが落ちない場合は、下表に従って台所用漂白剤（目安：30分）を使用してください。
- 長期間で使用にならないときは、きれいに洗って汚れを落とし、十分乾燥させ、高温多湿の場所をさけて保管してください。

部品名	洗い方	お手入れ方法
調理鍋フタ 調理鍋	○ 流水洗い ○ つけ洗い ○ 酸素系漂白剤 × 塩素系漂白剤	スポンジタワシなどに洗剤またはステンレス用クリームクレンザーを含ませ、きれいに洗い、水分を拭き取って、十分乾燥させてください。
保温容器フタ 保温容器	○ 布で拭き取り × 流水洗い × つけ洗い × 漂白剤	洗剤をやわらかい布に含ませ、かたくしぼって拭いた後、乾いた布で水分を十分に拭き取ってください。

## お手入れ上の注意

お手入れの前によくお読みの上、必ずお守りください。

- 保温容器・保温容器フタは流水洗い・つけ洗いをしないでください。  
\*すきまに浸入した水が腐敗して、臭いの原因になります。また、さびや腐食の原因になります。 ⊘ 禁止
- 煮沸はしないでください。  
\*熱により部品が変形する原因になります。 ⊘ 禁止
- 食器洗浄機・食器乾燥機は使用しないでください。  
\*さびや腐食、フタつまみの色落ちや材質が劣化する原因になります。 ⊘ 禁止
- シンナー・ベンジン・金属タワシ・みがき粉などは使用しないでください。  
\*さびや傷などの原因になります。 ⊘ 禁止
- 塩素系漂白剤は使用しないでください。  
\*さびや腐食、穴が開く原因になります。 ⊘ 禁止
- こげつきなどを落とす際、金属製の固いものは使用しないでください。  
\*さびや傷などの原因になります。 ⊘ 禁止

**こんなときは・・・** 分からないことがありましたら、以下の項目をお確かめください。

不具合	原因	対処方法
保温調理ができない・保温が効かない	分量が少ない	分量が少ないと温度が下がりやすく、保温効果が低下する原因になります。分量を増やすか、調理鍋をもう一度火にかけて再加熱してください。
	保温中に保温容器フタ・調理鍋フタをくり返し開けている	保温中に保温容器フタ・調理鍋フタを何度も開けると料理の温度が下がります。その際は必ずもう一度調理鍋を火にかけて再加熱してください。
食品が腐敗した	長時間保温している	腐敗をさけるため、8時間を目安に調理鍋を火にかけて再加熱してください。
異臭がする	汚れが付着している	きれいに洗い、十分乾燥させてください。 【🔍P.8】
調理鍋が変色した	調理鍋が焦げた	食器用中性洗剤を溶かしたぬるま湯にしばらく浸した後、スポンジタワシでこすり落としてください。焦げが取れない場合はステンレス用クリームクレンザーを使用してください。
	空だきした・加熱しすぎた	熱によりステンレスの表面が酸化し、変色することがあります。スポンジタワシにステンレス用クリームクレンザーを含ませてこすり洗いし、流水でよくすすいでください。
	さびや腐食が発生した	ステンレスはさび・腐食しにくい材料ですが、場合によってさび・腐食が発生することがあります。その場合はスポンジタワシにステンレス用クリームクレンザーを含ませてこすり洗いし、流水でよくすすいでください。
	白いシミのようなものが発生した	ステンレスが腐食したものです。身体に害はありませんが、そのまま放置すると穴があく原因になりますので、「さびや腐食が発生した」に準じてお手入れしてください。
保温容器内側に水滴が付着した	調理鍋と保温容器内側の空気の温度差により結露することがあります。使用後に水分をきれいに拭き取ってください。	

上記のいずれの項目にも当てはまらない場合は、お客様相談室にご相談ください。【🔍P.11】

# 仕様

品名	真空保温調理器	
品番	RPC-4500	
保温方式	高真空断熱	
材料の種類	保温容器	ステンレス鋼
	保温容器フタ	ポリプロピレン(発泡スチロール内蔵)
	調理鍋	ステンレス鋼
	調理鍋フタ	ステンレス鋼

※保温効力とは、室温20度において熱湯を調理鍋フタ下端まで満たし、湯温が95±1度の時から6時間放置した場合におけるその湯の温度です。

## 品質表示

材料の種類 本体：ステンレス鋼（クローム18%・ニッケル8%）  
 底面：ステンレス鋼（クローム18%・ニッケル8%）  
 アルミニウム } はり底  
 ステンレス鋼（クローム18%） }  
 （底の厚さ4.0mm(はり底を含む)）

寸法（最大内径） 20cm

満水容量 4.5ℓ

### 取扱い上の注意

- 空だきはしないでください。万一誤って空だきした場合に水などをかけて急冷しないでください。
- 使用後はよく洗って乾燥させてください。
- 取っ手部分が熱くなる場合がありますのでご注意ください。
- フチまで水などを満たした状態で使用しないでください。
- 調理鍋の中で長時間料理を保存しないでください。
- 金属タワシ・みがき粉などは使用しないでください。
- こげつきなどを落とす際、金属製の固いものは使用しないでください。
- 油料理の際、油温200度以上で使用しないでください。
- 強い衝撃を与えないでください。
- ストーブの上で使用しないでください。
- 突沸現象（局所的な急沸とう）防止のため、料理を再加熱する際は強火で一気に煮立たせず、弱火でかき混ぜながら温めてください。

## 交換用部品のご案内

■本製品の各部品は、下表の部品名で別売しています。

品番	部品名	メーカー希望小売価格(税込)
RPC-4500	調理鍋セット(フタ付)	8,400円
	調理鍋のみ(フタなし)	7,350円
	保温容器セット(フタ付)	14,700円
	保温容器のみ(フタなし)	13,125円
	調理鍋フタ	1,050円
	調理鍋フタつまみ	420円
	保温容器フタ	1,575円
	クッキングブック	315円

※部品価格は改定させていただく場合がございます。

### 【交換用部品のお求め方法】

品番・色名・部品名をご確認の上、下記方法でお求めください。  
(品番・色名は製品の底面に貼ってあるシールに記載されています。)

- ①インターネット… <http://www.thermos.jp/> にアクセスしてください。  
(取り扱い部品が限られておりますが、ご了承ください。)
- ②販売店……………サーモス製品を取り扱っている販売店でお取り寄せください。
- ③お客様相談室…… お電話でお申し込みください。

- お預かりした個人情報、部品の発送、関連するアフターサービスのために利用いたします。  
お客様の個人情報をお客様の同意なしに第三者に開示提供することはございません。  
なお、お客様の個人情報はサーモス(株)にて管理させていただきます。

製品の品質管理には、万全の注意を払っておりますが、万一製品に不具合が生じたときや製品に関するご不明な点・ご質問などがございましたら、下記お客様相談室までお問い合わせください。

**サーモスお客様相談室**  
**TEL.0256-92-6696**

■受付時間：月～金曜日(祝日・弊社休業日を除く)  
(9:00～12:00、13:00～17:00)  
〒959-0215 新潟県燕市吉田下中野1435番地  
サーモス株式会社 お客様相談室

製品の改良・改善のために仕様の一部を予告なしに変更することがあります。そのためイラストと製品とは多少異なる場合がありますが、ご了承ください。

©THERMOS 2009